

進んでやりぬく

今尾の子



えのき通信

令和2年度 海津市立今尾小学校

学校だより NO.13

令和3年 2月25日(木)

明朗(めあてをもって前向き)・工夫(自分で気付き、考え、判断し)・実践(最後までやりぬく)

『心からありがとう』

新しい形で感謝の気持ちを伝え合う「6年生を送る会」



毎年全校児童が体育館に集まり、6年生に対して感謝の気持ちを伝え合う6年生を送る会は、今年度新しい形で開催しました。前半は各教室にて事前に準備した学年ごとの感謝の気持ちを伝えるビデオ発表を見ました。後半は6年生から5年生へ伝統の引き継ぎの会を体育館で行い、1年から4年生までは各教室にてライブ映像を観賞しました。前半のビデオ発表では1年生は登下校について、2年生はスマイル活動について、3年生はスポーツフェスタについて、

4年生はクラブについて劇や語りを交えての心のこもった手作りの発表内容であり、『心からありがとう』の気持ちが6年生全員の心に届きました。後半の伝統引継ぎの会では、6年生が「あたたかい心」「安全な生活」「美しい学校」の3つの伝統について今まで大切に日常生活で積み上げてきた心と姿を力強く伝えました。その想いを5年生が心で受け止め、今尾小学校のリーダーとしての新たな決意をもつことができました。運営する5年生は一人一人が自分の役割に責任をもち、準備から意欲的に活動し、堂々とした姿でやりきり、いよいよ最高学年になる自覚を感じ、頼もしく思いました。



今尾の左義長講話(3年生)

2月16日には、岐阜県重要無形民俗文化財である今尾の左義長について同保存会近藤喜登様にお話ししていただきました。左義長の歴史や竹神輿の由来や作り方など実演を交えてのお話を一生懸命にメモを取りながら聴きました。昔は洪水から家屋が流されないように家の周りには竹が多く植えられていたことで、その竹を使って神輿を作ったことなど私たちの質問に対し、とても丁寧に答えていただき、私たちのふるさと今尾について改めて学ぶことができました。



6年生を送る会準備



来年度最高学年となる5年生は3学期に入り、6年生を送る会に向けて一人一人が役割をもち着実に準備してくれました。昨年までの会とは異なり、全校児童が体育館に入れない状況で、感染症防止対策を考えながら、どうしたら6年生や全校の仲間たちに自分たちの想いを伝えられるかなどを考えて活動していました。画像を通して伝えること、直接対面式で伝え合うことなど内容に応じて工夫しながら準備してくれました。その心のこもった細やかな準備が本日の新しい形の6年生を送る会につながっていたと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。『心からありがとう』